

エトワールへの道程 2020

新国立劇場バレエ研修所の成果

2020年

3/7[土]&8[日]15:00開演(両日)

Sat.7 and Sun.8 March 2020 15:00 Start

新国立劇場中劇場
PLAYHOUSE

主催 文化庁／新国立劇場

制作 新国立劇場

ごあいさつ



新国立劇場バレエ研修所
所長 牧阿佐美



©AOYAMA Tateyuki

本日はご多忙のところ、「エトワールへの道程2020」にお越しいただき、誠にありがとうございます。

この公演では、バレエ研修所第15期研修生5名が、修了公演として2年間にわたる研修の成果を披露いたします。第1部では、『白鳥の湖』や『パキータ』などクラシカル作品のパ・ド・トロワのほか、デヴィッド・ビントレーさんが振付をされ、英国ロイヤル・バレエ学校でも上演された作品『En Bateau』に挑戦いたします。今回はビントレーさんに直接指導をしていただき、研修生にとって有意義な機会となりました。第2部では、『眠れる森の美女』第3幕より抜粋して上演いたします。第15期生・16期生・予科生それぞれが自分自身の課題と常に向き合い、さらなる高みを目指してほしいと考えております。

音楽は、バーミンガム・ロイヤル・バレエをはじめ世界各国で活躍されているポール・マーフィーさんを指揮にお迎えし、オーケストラによる演奏で上演いたします。

また昨年を引き続き、「ANAスカラシップ」制度により、第15期生がA.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミーで海外研修を行いました。実際に海外に赴きその歴史と文化に触れながら研修できることの意義は大きく、今後も継続していけることを期待しております。

研修生・予科生には、まだ課題も多くありますが、さまざまな経験を重ね、これからも成長を続けてほしいと願っております。

バレエ研修所の活動が皆様のご期待に添えますよう、講師・スタッフ一同、尽力して参ります。今後とも温かいご支援・ご声援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

プログラム

Programme

第1部

『まつり』 振付：牧阿佐美

阿部純花 井上興紀

加藤里佳 狩俣瑠風 (8日) 服部由依 吉田朱里 (8日)

安達美苑 菅沼咲希 根本真菜美 (7日) 縄田花怜 (7日)

佐藤かな 関晶帆

『白鳥の湖』第1幕より パ・ド・トロワ

狩俣瑠風 吉田朱里 青木恵吾 (7日)

根本真菜美 縄田花怜 石山 蓮 (8日)

『パキータ』より パ・ド・トロワ

加藤里佳 服部由依 (7日) / 安達美苑 菅沼咲希 (8日)

中島瑞生

映像 ～研修所の日々～ 第15期生を中心として

『En Bateau』 振付：D. ビントレー

I. 岸谷沙七優 青木恵吾 仲村 啓 II. 阿部純花 井上興紀 土屋文太

III. 山内優奈 石山 蓮

IV. 松宮里々子

第2部

『眠れる森の美女』第3幕より

オーロラ姫 — 岸谷沙七優 (7日) 山内優奈 (8日)

デジレ王子 — 芳賀 望 (7日) 高橋真之 (8日)

国王 ————— 保坂アントン慶

王妃 ————— 関晶帆

青い鳥とフロリナ王女の — 阿部純花 (7日) 松宮里々子 (8日)

パ・ド・ドウ

仲村 啓 (7日) 井上興紀 (8日)

リラの精 ————— 吉田朱里 (7日) 服部由依 (8日)

宝石のパ・ド・カトル — 山内優奈 加藤里佳 狩俣瑠風 服部由依 (7日)

阿部純花 安達美苑 根本真菜美 縄田花怜 (8日)

長靴をはいた猫と白い猫 — 菅沼咲希 青木恵吾 (7日)

岸谷沙七優 石山 蓮 (8日)

赤ずきんと狼 ————— 松宮里々子 (7日) 加藤里佳 (8日) 土屋文太

貴族 ————— 狩俣瑠風 (8日) 吉田朱里 (8日) 安達美苑 (7日)

菅沼咲希 (8日) 根本真菜美 (7日) 縄田花怜 (7日)

佐藤かな 岡田百音 山根くるみ

井上興紀 (7日) 青木恵吾 (8日) 石山 蓮 (7日)

中島瑞生 仲村 啓 (8日)

『まつり』

MATSURI

音楽：小杉太一郎『戦国時代』より KOSUGI Taichiro

振付：牧 阿佐美 MAKI Asami

日本のまつりでの踊りのスタイルを取り込んで、若者たちの心の華やきや高揚感をバレエの動きに和合させて表現した小品となっている。(バレエ研修所)

『白鳥の湖』第1幕より パ・ド・トロワ

SWAN LAKE

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

振付：マリウス・プティパ Marius PETIPA

チャイコフスキーの音楽による『白鳥の湖』第1幕には、もともと王子と村娘による“パ・ド・ドゥ”と、友人ペンと2人の娘による“パ・ド・トロワ”が存在していた。チャイコフスキーの歿後、プティパ・イワノフ版として再構成されるとき、この“パ・ド・ドゥ”部分は、舞踏会の場に移され、黒鳥の踊りの音楽として新しい命を与えられ、第1幕の“パ・ド・トロワ”は、この幕の唯一の見せ場の踊りとなっている。(福田一雄)

『パキータ』より パ・ド・トロワ

PAQUITA

音楽：レオン・ミンクス Léon MINKUS

振付：マリウス・プティパ Marius PETIPA

バレエ『パキータ』は、音楽デルデヴェス、振付マジリエでパリ・オペラ座で初演された(全3幕)。この時、若干20歳のミンクスが第1幕の村の場にパ・ド・トロワの音楽を追加作曲した。この事が、ミンクスがバレエ音楽作曲家の道に進むきっかけとなったのである。

1881年に、プティパは“パ・ド・トロワ”を改訂振付し、ミンクスは新しく音楽構成を依頼した。この時、男性ヴァリエーションの音楽はアダン作曲のバレエ『4人の悪魔』の中の曲が使われ、第2女性ヴァリエーションにはデルデヴェスの音楽が復活編曲されたようである。

『パキータ』全幕は、近年ピエール・ラコットによって復活上演されるようになったが、それまでは、プティパ改訂版の際に挿入された“グラン・パ・クラシック”や、この“パ・ド・トロワ”など、ストーリーに関係のない踊りの場面だけが、長い歴史を経て踊り継がれてきた。(福田一雄)

『En Bateau』

音楽：クロード・ドビュッシー Claude DEBUSSY

振付：デヴィッド・ Bintレー David BINTLEY

『En Bateau』は、当初英国ロイヤル・バレエ学校の生徒用にと1988年に創作され、若きロバート・テューズリーとサラ・ウィルダーが主演した。この作品は、ニネット・ド・ヴァロワの90歳の誕生日に際し、彼女に捧げられた。

バレエは、19世紀後半のセーヌ河畔での舟遊びを思い描いている。ジョルジュ・スーラとオーギュスト・ルノワールの絵画、特に『グラント・ジャット島の日曜日の午後』、『舟遊びをする人々の昼食』、『アニエールの水浴』からインスピレーションを得ており、そのイメージがこのバレエの舞台装置として使われている。

(デヴィッド・ Bintレー)



振付：デヴィッド・ Bintレー Choreography: Sir David BINTLEY

1976年英国ロイヤル・バレエ学校卒業後、サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ(現バーミンガム・ロイヤル・バレエ)に入団。2年後、同団に初めての作品を提供し、84年常任振付家となる。キャラクター・アーティストとしても優れ、特にフレデリック・アシュトンやニネット・ド・ヴァロワの作品で活躍した。『ベトルーシュカ』でのタイトルロールでローレンス・オリヴィエ賞を受賞。同団退団後、アンソニー・ダウエルとの引きによって英国ロイヤル・バレエのプリンシパル兼常任振付家に就任。92年の退団後フリーランスとなる。95年ピーター・ライトの後を継いでバーミンガム・ロイヤル・バレエの芸術監督に就任し、その後24年間務めた。また、新国立劇場バレエ団の芸術監督を2010年から14年まで務めている。Bintレーの作品は、二つのロイヤル・バレエ団をはじめ、シュトゥットガルト、ミュンヘンほか、世界中の数多くの著名なバレエ団で上演されている。受賞多数。01年舞踊への貢献・功勞によりCBEを授章。このたびナイトの称号を授与された。

『眠れる森の美女』 第3幕より

SLEEPING BEAUTY

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY
振付：マリウス・プティパ Marius PETIPA

シャルル・ペローの童話を基としたチャイコフスキー作曲の第二作目のバレエ『眠れる森の美女』は古今東西のバレエの中でもっとも絢爛豪華で規模の大きいプロローグつき全3幕の長編バレエである。

第3幕は、ポロネーズの音楽による全員の登場、このバレエの重要な役の一つであるリラの精の踊り、つづいていわゆる「宝石の踊り」によるパ・ド・カトルとなる。有名な「青い鳥とフロリナ王女の踊り＝パ・ド・ドゥ＝」は実はペローの童話ではなく、オーノワ夫人の童話からである。

ペローの童話からは、「長靴をはいた猫と白い猫の踊り」や「赤ずきんと狼」などが踊られる。そしてこのバレエの主演オーロラ姫とデジレ王子による「パ・ド・ドゥ」、最後にアポテオーズ(大団円)の音楽で終わる。実はこのアポテオーズの音楽は、プティパがチャイコフスキーに呈示したフランスの「アンリ四世賛歌」のモチーフによっていて、ルイ14世の時代を象徴している。

プティパは、チャイコフスキーにかなり細かい指示を伴う音楽注文書を渡した。チャイコフスキーはこの注文書に忠実に従って作曲をしたが、その難しい制約のなかでも、チャイコフスキーは素晴らしいバレエ音楽を書き上げた。(福田一雄)



指揮：ポール・マーフィー Conductor: Paul MURPHY

バーミンガム・ロイヤル・バレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。ロンドンの英国ロイヤル・バレエで定期的にゲスト指揮者を務めている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBC ナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBC コンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団ほか、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団で指揮をしている。ニューヨーク・シティ・バレエ、ライン・バレエ、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、オーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガランドゥーリス』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『パゴダの王子』『ホフマン物語』『バレエ・アステラス』ほかを指揮している。

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

1911年創立。日本のオーケストラとして最古の歴史をもつ。メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能をもつ。名誉音楽監督ジョン・ミュンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者ミハイル・プレトニョフ。定期演奏会等の自主公演、新国立劇場などでのオペラ・バレエ演奏、放送演奏、教育プログラムのほか海外公演でも高い評価を得る。

公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/> Facebook TokyoPhilharmonic
Twitter @tpo1911 Instagram tokyophilharmonicorchestra



©UENO Takafumi

スタッフ Staff

技術総括：小西弘人
照明プラン：福田信之
音響プラン：仲田竜太

舞台監督：柴崎 大
舞台監督助手：田村 要
音楽スタッフ：富田実里
リハーサルピアニスト：稲葉智子、平野さやか
宮崎あかね、吉田育英
ワードローブ：白井友貴子、大塚綾子
衣裳製作・協力：工房いーち、チャコット株式会社
東京アサミマキアーツ、渡辺珠実バレエ研究所、江本 拓
装置：東宝舞台
画像提供：アフロ(『En Bateau』)
音楽監修・作品解説：福田一雄
映像編集・撮影：坪田篤之
写真撮影：瀬戸秀美
トレーナー：安田善彦
翻訳：早坂和佳子
制作補助・通訳：緒方智恵
制作助手：藤本 豊

舞台・照明・音響：
新国立劇場技術部
シアターコミュニケーションシステムズ
アート・ステージライティング・グループ
ブリックプロ
(舞台/白井悠史、照明/島野真実
音響/佐藤杏日花、大道具/飯田瑞紀
デザイン/福井あづさ)

指導：牧 阿佐美、小倉佐知子、坂西麻美
西川貴子、ほかバレエ研究所講師
主催：文化庁、新国立劇場
制作：新国立劇場

修了を迎えて

第15期生

- 出身地
- 出身バレエ学校

阿部純花

ABE Sumika



- 神奈川県
- 新国立劇場バレエ研修所予科/
エコールヨコハマ牧阿佐美バレエスタジオ

3歳の頃の私は、ステップを踏むのが楽しくて、私を見る家族の笑顔が大好きで、何の迷いもなく、見たこともないお姫様や白鳥になりました。スーパーや学校の校庭、少しでも場所を見つけては踊っていました。

もともとバレエは生活の一部でしたが、研修所で4年間を過ごした今は、バレエを通してどんな人になりたいかまで考えるようになりました。

ただの1回転でさえ、踏み込むその一歩でさえ、感謝して、大切にして、毎回を丁寧に緻密に。ダンサーになることだけが目標ではなく、一生涯かけて、自分の中にある本物のバレエを育てていきたいです。



岸谷沙七優

KISHIYA Shanaya



- 東京都
- コンテンポラリーバレエスタジオダンスナッツ

研修所では先生やスタッフの方々にたいへん多くのことをご指導いただきました。バレエの技術はもちろんですが、舞台人としてのあるべき姿、常に高みを目指し諦めない気持ち、周りと比較はせずに自分と向き合うこと、そして常に前向きであることの大切さなど、例を挙げればきりがありません。中でも私がとても大切だと思ったことは毎日何かを続けるという事です。当たり前のことかもしれませんが、この2年間で本当に大切な事だと感じました。研修所での日々は、私の世界観をも大きく変える貴重な時間でした。一生大切にしていきたい仲間も出来ました。修了後もこの感謝の気持ちを忘れずに日々研鑽を積んでいきたいと思っています。



Students Comments & Profiles

Profile photo: MATSUI Tomomi
Stage photo: SETO Hidemi

松宮里々子

MATSUMIYA Ririko



○東京都
○片山満子バレエスクール

研修所に入所してから、周りの研修生や予科生のみんなが自分と向き合って努力している姿を見て、自分がいかにまだまだ甘えていたかを痛感しました。これまで一番多くの自分の課題にぶつかり、不安や焦りを感じる時もたくさんありましたが、とても充実した2年間でした。

先生方には本当に時間をかけてご指導していただき、この研修所での日々を経験できたことはとても恵まれていたと思います。そしてここまでバレエを続けさせてくれ、支えてくれた家族にも感謝しています。

この修了公演は2年間で成長した姿をお見せできるよう、精一杯踊ります。

山内優奈

YAMAUCHI Yuna



○福岡県
○新国立劇場バレエ研修所予科/
マリ・バレエスタジオ

本日はご来場いただきありがとうございます。

この4年間いろいろな方と出会い、沢山の経験をさせていただき感謝しております。中でも、ANAスカラシップでのA.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミーへの3週間の海外研修は貴重な時間でした。言葉の壁は大きく大変なこともありましたが、バレエだけでなく絵画や彫刻、建造物などいろいろな芸術を実際に目の当たりにし言葉では表せない感動ばかりでした。その体験を活かし、これからも邁進して参りたいと思います。今回の修了公演は4年間の集大成として精一杯演じたいと思います。

井上興紀

INOUE Tomoki



○愛媛県
○美佳バレエスクール

研修所に入所して、あっという間に2年が経とうとしています。慣れない場所での一人暮らしと両立して送る研修生活は大変でしたが、それ以上に充実していました。毎日の多種多様なレッスンや講義から、自分に足りない技術や知識を深め、ダンサーとして、また、1人の人間としてレベルアップできたと感じています。

様々な事に挑戦させて頂き、これまで支えて下さった先生方や友人、そして何より家族には本当に感謝しています。ありがとうございます。

これまで学んだことを忘れず、今後も更に自分の殻を破り、この芸術を追求していきたいと思います。

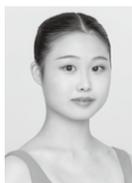


研修生・予科生プロフィール

- 出身地
- 出身バレエ学校

研修生

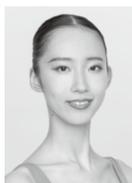
第16期生



加藤里佳

KATO Rika

東京都
新国立劇場バレエ研修所予科/
YARITA YU BALLET STUDIO



狩俣瑠風

KARIMATA Ruka

福岡県
R-Ballet



服部由依

HATTORI Yui

兵庫県
新国立劇場バレエ研修所予科/
ISA BALLET SCHOOL



吉田朱里

YOSHIDA Akari

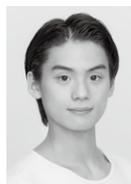
千葉県
新国立劇場バレエ研修所予科/
スタジオ アンドゥトロワ



青木恵吾

AOKI Keigo

埼玉県
スタジオ NY
長瀬クラシックバレエスクール



石山 蓮

ISHIYAMA Ren

神奈川県
角屋満季子バレエ団



土屋文太

TSUCHIYA Bunta

埼玉県
井上美代子バレエスタジオ

予科生

第10期生



安達美苑

ADACHI Misono

神奈川県
小倉佐知子バレエスタジオ



菅沼咲希

SUGANUMA Saki

神奈川県
小倉佐知子バレエスタジオ



根本真菜美

NEMOTO Manami

宮城県
橋バレエ学校仙台教室



縄田花怜

NAWATA Karen

東京都
梨木バレエスタジオ

第11期生

Photo by MATSUI Tomomi



司会進行

加部 茜 KABE Akane

新国立劇場演劇研修所第14期生(2018年入所)。1999年生まれ、東京都出身。
これまでに研修生として、2019年8月日英演劇アカデミー国際交流公演『The Monster／怪物』に出演。

ゲスト出演



芳賀 望 HAGA Nozomu

神奈川県出身。13歳で単身カナダに渡り、Goh ballet academyで学ぶ。留学中、国内外の数々のコンクールに出場。アジアパシフィックコンクールファイナリスト、東京新聞コンクールパ・ド・ドゥ部門第3位、韓国で開催されたクアンジュ・インターナショナルコンクールで、モーストプレミシングダンサーに選ばれるなど優秀な成績を残す。カナダのアルバータバレエカンパニー、Kバレエカンパニー、新国立劇場バレエ団で主要な役を務める。『アラジン』『ドン・キホーテ』『ラ・バヤデル』『くるみ割り人形』『パゴダの王子』など、数々の作品で主役を務める。現在はフリーで活躍している。



高橋真之 TAKAHASHI Masayuki NBAバレエ団プリンシパル

9歳より一の宮咲子バレエ研究所にてバレエを始める。一の宮咲子、一の宮英里子に師事。2009年より鈴木和子に師事。2010年よりWashington School of Balletにスカラシップ留学。Kee Juan Han、Carlos Valcarcelに師事。帰国後、日本バレエ協会公演等に出演。2013年NBAバレエ団入団。2016年プリンシパルに昇格。『ケルツ』グリーンマン、『ガチョウ讃歌』le bananier、『ブルッフヴァイオリン協奏曲』ピンクカップル、『くるみ割り人形』王子、cavalier、『真夏の夜の夢』パック、『ロミオとジュリエット』マキューシオ、『ドン・キホーテ』バジル、『海賊』コンラッド、『白鳥の湖』王子等を踊る。



中島瑞生 NAKAJIMA Mizuki 新国立劇場バレエ団／研修所第11期修了

東京都出身。真島恵理バレエスタジオ、新国立劇場バレエ研修所を経て、2015年新国立劇場バレエ団入団。ウィールドン『不思議の国のアリス』3人の庭師をはじめバレエ団の各公演に出演。また新国立劇場ダンス公演でも、中村恩恵『ベートーヴェン・ソナタ』（17年、19年）ヨハン役を踊り、『DANCE to the Future 2019』ではインプロヴィゼーションのメンバーに抜擢され出演した。



仲村 啓 NAKAMURA Satoshi 新国立劇場バレエ団／研修所第14期修了

埼玉県出身。KRMバレエで学び、新国立劇場バレエ研修所に入所。研修最終年度には「ANAスカラシップ」制度にてロシア海外研修に参加し、修了公演では『ラ・バヤデル』第3幕パ・ド・ドゥのソロールを踊った。2019年新国立劇場バレエ団に入団。

賛助出演



保坂アントン慶
HOSAKA Anton Kei

牧阿佐美バレエ団。キャラクタープリンシパルとして数々の公演に出演する傍ら、後進の指導にも力を注いでいる。



佐藤かんな
SATO Kanna

牧阿佐美バレエ団／研修所第6期修了。牧阿佐美バレエ団ソリストとして『飛鳥』黒竜、青竜ほか、数多くの主要役を務める。



関 晶帆
SEKI Akiho

新国立劇場バレエ団／研修所第9期修了。バレエ団公演『ロメオとジュリエット』ロザラインなどのほか、ダンス公演『ベートーヴェン・ソナタ』にも出演。



岡田百音
OKADA Mone

新国立劇場バレエ団（登録アーティスト）／研修所第14期修了。「ANAスカラシップ」制度にて、2018年ロシア海外研修。



山根くるみ
YAMANE Kurumi

新国立劇場バレエ団（登録アーティスト）／研修所第14期修了。「ANAスカラシップ」制度にて、2018年ロシア海外研修。

カリキュラム紹介と講師



〈バレエ研修所講師〉

後列 左より
西川貴子、坂西麻美
前列 左より
鈴木和子、牧阿佐美、小倉佐知子



クラシカル・バレエ

技術研修 (2019年4月～2020年3月)

クラシカル・バレエ

小倉佐知子 主任講師

坂西麻美 副主任講師

西川貴子 副主任講師

鈴木和子、イルギス・ガリムーリン、森田健太郎、八幡顕光



ジャイロキネシス

バ・ド・ドゥ・クラス

イルギス・ガリムーリン、森田健太郎、志賀三佐枝

ヒストリカル・ダンス

木賀真佐子

キャラクター・ダンス

ゲンナーディ・イリイン

スパニッシュ・ダンス

小島章司、アシスタント：柳谷歩美、松田知也

ボディ・コンディショニング

橋本佳子

ジャイロキネシス

丸澤美由子

演劇基礎研修

小林七緒

歌唱

伊藤和美



バ・ド・ドゥ・クラス



演劇基礎研修

〈ピアニスト〉

稲葉智子、黒田 泉、竹当亜惟、圓井晶子、名越隆子

平野さやか、星 美和、宮崎あかね、吉田育英

講義

バレエと音楽

福田一雄

バレエ史

芳賀直子

マナー

鳥取二三子 フランス語婦人会／国際婦人福祉協会 ほか

茶道

有澤宗智 裏千家教授

ノーテーション

新谷佳冬 芦屋大学

美術史

中西麻澄 東京藝術大学

身体解剖学

安田善彦 初台安田整骨院

栄養学

村田裕子

連携 科学技術学園高等学校



スパニッシュ・ダンス

語学研修

英語

東京外国語センター



栄養学

特別レッスン・講義 (2016年～)

クラシカル・バレエ

法村牧緒 法村友井バレエ団 団長

ニコライ・ツイスカリーゼ A.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミー 校長

パトリック・アルマン サンフランシスコ・バレエ学校 校長

タチアナ・チェルノプロフキナ 元国立モスクワ音楽劇場ソリスト

サロン (交流会)

田中佐太郎 伝統歌舞伎保存会理事

小笠原敬承斎 小笠原流礼法宗家

一二世都一中 一中節宗家

藤田六郎兵衛 藤田流笛方十一世宗家

坂井音重 シテ方 能楽師

尾崎元規 新国立劇場理事長

吉田和生 人形浄瑠璃文楽座・人形

牧 阿佐美 新国立劇場バレエ研修所長



「バレエ・アステラス2017」におけるA.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミー N.ツイスカリーゼ校長による公開レッスン(オペラバレス) ©瀬戸秀美



サロン(交流会) 吉田和生師(人形浄瑠璃)



デヴィッド・ピントレー氏によるリハーサル



「バレエ・アステラス2019」終演後(オペラバレス)

舞台実習

新国立劇場バレエ団公演参加

『ドン・キホーテ』 [2016/5]

『眠れる森の美女』 [2017/5]

『白鳥の湖』 [2018/5]

『ラ・バヤデー』 [2019/3]

『アラジン』 [2019/6]

バレエ研修所公演

エトワールへの道程2019 [2019/3]

バレエ・アステラス 2019 [2019/8]

バレエ研修所公演「バレエ・オータムコンサート2019」 [2019/11]

海外研修 (ANAスカラシップ)

A.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミー (第15期生) [2019/11-12]

海外フェスティバル招聘歴

Protégés 国際バレエ学校フェスティバル

(ワシントン ケネディ・センター) [2006/1、2011/3]

モスクワボリショイバレエ学校240周年記念国際バレエ学校フェスティバル

(国立クレムリン宮殿) [2013/11]

A.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミー創立280周年記念ガラ・コンサート

(ボリショイ劇場・国立クレムリン宮殿) [2018/6]



「バレエ・オータムコンサート2019」より「くるみ割り人形」



「シンフォニエッタ」A.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミー創立280周年記念ガラ・コンサート(ボリショイ劇場)
©Mikhail LOGVINOV

バレエ研修所公演のお知らせ

バレエ・アステラス・スペシャル2020 世界バレエ学校フェスティバル&アステラス・ガラ

2020年9月12日(土)・13日(日)14:00開演(両日) オペラパレス

2020年は、世界で活躍する日本人ダンサーと海外の有力バレエ学校が集う
バレエ・アステラスの拡大企画の開催を予定しています。(特別企画のため出演者の公募はございません。)
公演の詳細情報は、順次ウェブサイト等でお知らせいたします。

バレエ研修所公演「バレエ・オータムコンサート2020」

2020年11月7日(土)・8日(日) 中劇場

協賛：全日本空輸株式会社

修了公演「エトワールへの道程2021 新国立劇場バレエ研修所の成果」

2021年3月20日(土)・21日(日) 中劇場

新国立劇場バレエ研修所 研修生・予科生の募集について

新国立劇場バレエ研修所は、プロを目指すダンサーを育成するため、全日制で研修を行っています。クラシカル・バレエやキャラクター・ダンスなどの実技研修から、バレエ史やノーテーションなどの教養まで幅広いカリキュラムを組み、現在4学年16名で日々研修に励んでいます。これまで14期88名が修了し、新国立劇場バレエ団をはじめ、第一線で活躍しています。2021年度の研修生・予科生の募集は9月を予定しています。募集詳細は決定次第、ウェブサイト等でお知らせいたします。

バレエ研修生のための『ANAスカラシップ』



2018年より全日本空輸株式会社と新国立劇場により『ANAスカラシップ』制度が創設され、前年に引き続き、第15期生が、A.Y.ワガノワ記念ロシア・バレエ・アカデミーで海外研修を行いました。ロシアの歴史と文化を肌で感じ、ワガノワのアカデミー生とともに授業に向かい、研修生にとって充実した3週間となりました。



アカデミー外観 (サンクト・ペテルブルク)



8年生クラスレッスン (カセンコワ先生)



ヴァリエーションクラスのグメロワ先生と

新国立劇場バレエ研修所

<http://www.nntt.jac.go.jp/ballet/training/>
TEL.03-5351-3011 (代表)

発行日 2020年3月7日
発行 公益財団法人新国立劇場運営財団
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 TEL.03-5351-3011 (代表)
編集 新国立劇場バレエ研修所
デザイン 岩島美幸 (ラユニオン・パブリケーションズ)